

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、三方原圏域） 第3回会議 議事録

開催日時	令和5年2月27日（月）10時から11時30分まで
参加者	委員：20人（地区9人・事業所11人） 事務局：1人 その他：20人（浜松市高齢者福祉課：1人、北区長寿保険課：1人、地域包括支援センター三方原：8人、公友会：2人、市社協地域支援課：1人、市社協北地区センター：5人、聖隷クリストファー大学生：2人）
場所	浜松市みをつくし文化センター 大研修室
内容	<p>1. 挨拶 協議体会長</p> <p>2. 自己紹介 新任5人、学生2名、公友会2名の紹介</p> <p>3. 協議内容 担い手の確保につながる持続可能な地域づくりを目指して</p> <p>①一般社団法人 MIYAKODA T 代表より 立上げ時13社、去年30社、現在40社、来年度入会予定50社。MAPを新調中。都田産の食材を使った炭焼き都田バーガーで消費者と生産者をつなぐ。企業と連携して「都田コミュニケーション」でゴミ拾いと地域のコミュニケーションを図る活動。市民とコミュニケーションを図る場所、職業・食の体験等で仕事につながるような活動を計画。</p> <p>②グーグルフォームについて（実際に体験する） CSW 無料で提供してくれるアンケートやお問い合わせのフォーム。地域では、イベントの参加申込、アンケート集計、意見集約、会議の日程調整等に使える。</p> <p>③第2回協議体会議の振り返り *R4.11.22 開催議事録参照 今後の進行予定 *資料提供</p> <p>④企業への働きかけ 山下会長より訪問報告 さわやか福祉財団発行『企業のSDGs・CSRご担当者様へ』冊子配布 ・1/17(火) 株式会社エヌエスティー、アマノ株式会社 ・1/25(水) 不二総合コンサルタント株式会社、株式会社エフ・シー・シー ・2/8(水) ASTI株式会社 ・2/24(金) 株式会社システック 地域の担い手が非常に不足している。企業との連携を如何に進めるか。主に定年の従業員の地域への参加。地域福祉への関心、ボランティア人材バンク、地域活動を知っていただくための出前講座等説明した。どの企業も、従業員の健康に関しての話題に興味を示していた。「健康面に関しての講演」を共に考え、それを第一ステップとしてスタートできれば有難い。今後、企業と連携してイベント等ができれば</p>

個人的にもつながり、もっと担い手を探すことができると期待している。すぐに担い手が見つかることもできないし、企業も 100 年に一度の構造改革をどう乗り越えるか取り組んでいる。

⑤施設や事業所と連携した地域の助け合い活動

事業所等から「人・もの・情報」についてのお考えを聞く

住民主体の移動支援サービス、住民同士の交流の場づくりに関する調査実施

◎発表（5分×5事業所）

・聖隷ケアセンター初生

地域密着型特別養護老人ホーム 29 床とデイサービスセンターが併設

コロナ禍でボランティア受入中止。初生地区の皆様と色々な事をやっていきたい

・聖隷ケアセンター三方原

開設 12 年。デイサービスセンター、訪問看護ステーション、ケアプランセンターの 3 事業所が併設。平日は全公用車 24 台使用で空きなし。地域活動はロコモ体操教室を三方原協働センターで浜リハの生き生きトレーナーと職員で運営。信用金庫で体操教室、三方原小学校で特別支援学級生と一緒に過ごす活動。大学にカメラを置き体操の指導を高齢者の方とオンラインで行う等インターネットを活用。

・第二九重荘

特別養護老人ホームとケアプランとデイサービス・ショートステイ、福祉用具。住民移送サービスで公用車の提供は難しい。運転人員について保険や人件費の捻出方法が分からない。この活動は施設事業なのか行政事業なのかはっきりする。住民づくりの交流の場では条件によって提供可能。時間と曜日は事前連絡し当施設多目的のホールで 30 名程度の地域活動。施設が集まれる場所になるといい。

・浜松十字の園支援センター

特別養護老人ホーム 120 床、第 1・2 アドナイ館がある。1 階で介護保険のデイサービスを営業。そこの公用車と他に一部日中使っていない車両を中心に要望があれば地域へ貸し出し。御殿場十字の園が御殿場社協と連携して、地域の買い物支援事業を実施。法人内で市社協と連携した動きをしているのでノウハウはある。条件が整い要望があれば協力したい。

・社会福祉法人公友会

特別養護老人ホーム、デイサービス、地域包括支援センター三方原、三幸町に子ども園を運営。特養のケアホームしあわせ、ケアホーム三方原にて、地域住民が集う「しあわせカフェ」の活動や外部講師を招いてのヨガ教室やロコモの場所の提供。地域の方のニーズがより具体的になれば取り組みやすい。包括を運営している利点を活かしながら地域の皆様と共に歩んでいきたい。

※令和 2 年度の調査に前向きなご回答をいただいた 2 施設へ再調査のため訪問。

特別養護老人ホームふるさと庵（豊岡町）、三幸協同製作所（三幸町）

	<p>◎意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この地域の特性を活かしながらの企業への働きかけであるとか、各事業所が多いという特性の中で様々な情報収集をしてきたのはとてもよく分かった。今日報告を聞いて要点は何かっていうと、要望があればということ。「住民と関係機関が地域の生活課題を発見する」ところから検討していく必要がある。「何をどうしたいのか」のところを、情報として地域がまとめていただくことが改めて必要。 ・民生委員として会合や研修も大事だが、それ以上に日々の訪問活動を中心に、一人一人担当した地域で実状を把握する。特に個人情報を持っているので、それは一つの“強み”を活かしながら、なるべくこまめな見守りとか課題把握ができることが大事だと感じていた。 <p>4. 来年度、第1回協議体会議日程（案）について</p> <p>令和5年6月26日（月）10:00～ みをつくし文化センター</p> <p>*事前打合せ会；5月22日（月）10:00～市社協北地区センター（正副会長）</p> <p>※来年度に入り、再度日程調整し決めていく</p> <p>5. その他 配布物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1層協議体の第1回協議体会議議事録(R4.8.31開催分) ・マックスバリュ細江店移動スーパー都田地区チラシ <p>6. 閉会の言葉 生活支援体制づくり協議体 K副会長</p>
<p>今後の見通し等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの活用として、グーグルフォームについて、使用するメリット等情報提供を行い、地域活動での利用普及に努めていく。 ・企業訪問等で連携を深め、地域と協働した活動が実現できるよう企業へ働きかけていく。コロナ禍で活動が停滞した中、改めて地域の生活課題は何だろうか、もう一度洗い直しを行い、各地区の具体的な要望・展望・方向性を出し合い、関係機関で共有する。